

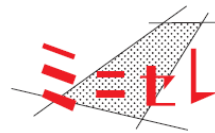


公益財団法人愛知県文化振興事業団

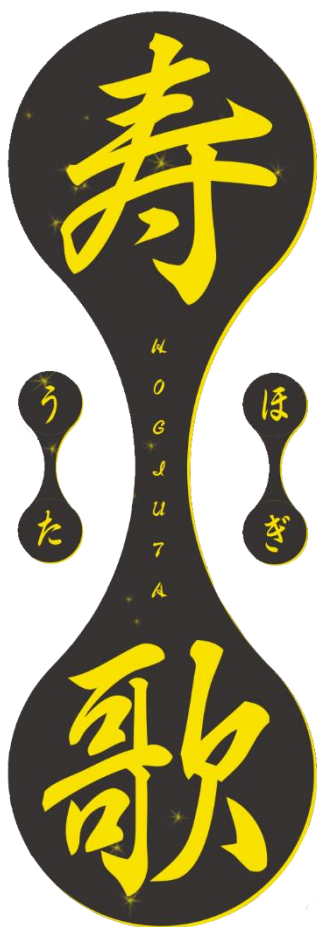
2017年12月7日(木)
愛知県芸術劇場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティンググループ
☎ 052-955-5506

<Press Release>

報道各位



愛知県芸術劇場・SPAC（静岡県舞台芸術センター）
共同企画



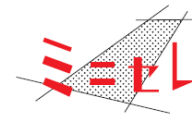
(C)新 良太



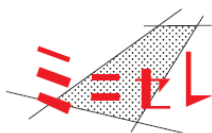
平素より愛知県芸術劇場の活動につきまして、ご理解・ご支援賜りありがとうございます。
さて、見出しのとおりプレスリリースを送付いたします。
ご多忙中恐縮ですが、ご一読の上、ご取材等いただければ幸いです。

お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティンググループ(武石) 企画制作グループ(山本)
〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 ☎ 052-955-5506 Fax 052-971-5541
Mail: mkt@aaf.or.jp http://www.aac.pref.aichi.jp/



愛知県在住の劇作家・北村想の代表作『寿歌』を、2018年3月24日(土)から26日(月)まで小ホールで上演します。同作は、核戦争後の世界を舞台に3人の男女が繰り広げる“明るい絶望の中の喜劇”。初演から30年経った現在も、日本全国で上演され続けています。この戯曲を、演出家であり、静岡県舞台芸術センター(SPAC)芸術総監督の宮城聡が演出。静岡で稽古した後に愛知で初演します。1月29日(月)には制作記者会見を予定。二人の俊才が創る、当劇場とSPACによる初の共同企画にご期待ください。



ミニセレの「ミニ」は、ミニシアター(小ホール)のこと。
小ホールで開催する、先駆的・実験的なプログラム群の総称です。
中部圏の皆さんにぜひ観ていただきたい、同時代の作品を厳選しています。



静岡県舞台芸術センター(SPAC)芸術総監督・演出家: 宮城 聡



劇作家: 北村 想

愛知県芸術劇場×静岡県舞台芸術センター初の共同企画

愛知県芸術劇場・SPAC(静岡県舞台芸術センター)共同企画『寿歌』の演劇公演を、2018年3月24日(土)から26日(月)まで小ホールで開催します。

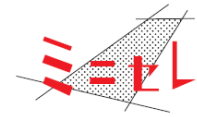
著者は、愛知県在住の劇作家・北村想。これまで岸田國士戯曲賞をはじめ、日本における様々な戯曲賞を受賞し、愛知芸術文化センター開館記念事業や当劇場の開館10周年記念事業などで、上演・戯曲の書き下ろしを行ってきました。

演出は、静岡県舞台芸術センター(以下SPAC)芸術総監督の宮城聡。フランス・アヴィニョン演劇祭2017で同演劇祭初のアジア作品によるオープニング上演を飾り、世界的な反響を呼びました。二人の俊才によって創られる本作品を、静岡で稽古した後に愛知で初演します。

また本作品は、静岡県のふじのくにせかい演劇祭2018で上演を予定。愛知と静岡の県立劇場が初めて行う共同企画にぜひご期待ください。

“明るい絶望の中の喜劇”、寿歌

核戦争後の荒野でリヤカーを引く旅芸人のゲサクとキョウコ。そこに現われたひとつの物から複製を作り出すヤスオの3人による奇妙な旅が始まる。空を飛びチウム^{ミサイル}原子爆弾、不思議なホテル、果てしない旅路の中で響き渡る“寿歌”とは…。絶望の中で底抜けに明るく生きる人間模様を描いた第25回岸田國士戯曲賞最終候補作。



演劇の表と裏に触れて楽しさを発見！学生無料招待



山本麦子(愛知県芸術劇場プロデューサー)

「第16回AAF戯曲賞受賞記念公演『それから街』」高校生がネプロ招待の様子(2017年10月21日)

本作品の上演にあたり、公演前日23日(金)のゲネプロ(公演と同じ形式で行う最終通し稽古)に中学・高校生を無料でご招待します。

上演後には、アフタートークを実施。当劇場のプロデューサー山本麦子がナビゲーターを務め、作品が創られていく過程の紹介や質疑応答を交えるなど、制作の裏側に触れていただけます。これは、10代の学生が芸術に触れることで、舞台を鑑賞する楽しみや創造することの面白さを知ってもらうための取り組みです。劇場に行くのが初めてという方から、部活や自身の活動で演劇に関わる方まで、中学・高校生ならどなたでもご参加いただけます。

関連ワークショップを県内4市で開催！公演の台本を一緒に音読



奥野晃士(SPAC俳優)

パティオ池鯉鮒 喫茶シエロで行った「リーディング・カフェ」の様子(2017年11月16日)

関連ワークショップ「リーディング・カフェ」を、パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)、長久手市文化の家、新城市つくで交流館、小牧市公民館の順に開催します。お茶を片手に戯曲(演劇の台本)を音読することで、発声の面白さや、活字の先にある演劇の奥深さを味わえる約2時間の演劇体験企画です。本公演に出演するSPAC俳優の奥野晃士が講師を務め、やさしくレクチャーします。この企画に参加した後に自身の読んだ戯曲が本公演でどのような演技・舞台になるかを想像しながらお楽しみください。普段演劇を見たことがない方は勿論、朗読や読み聞かせ、ナレーションに興味のある方等、どなたでも気軽にご参加いただけます。

エリア	日程	会場名	講師
知立市	2017年11月16日(木)	パティオ池鯉鮒 喫茶シエロ (知立市文化会館)	奥野晃士(SPAC俳優)
長久手市	2018年11月17日(金)	長久手市文化の家 食文化室	
新城市	2018年2月10日(土)	新城市つくで交流館	
小牧市	2018年2月11日(日・祝)	小牧市公民館・視聴覚室	

公演情報

公演名 | 愛知県芸術劇場・SPAC-静岡県舞台芸術センター 共同企画

『寿歌』

日時 | 2018年3月24日(土)14:00開演 公演中ポータブル日本語字幕対応あり

18:00開演 アフタートーク 有

25日(日)14:00開演 終演後シアターミーティング 有

26日(月)14:00開演 アフタートーク 有

19:00開演

※開場時間は各公演 15分前

会場 | 愛知県芸術劇場小ホール

入場料金 | 一般 3,000円 U25 1,000円(全席自由・整理番号付)

※未就学児入場不可。託児あり(有料・要予約)

○託児サービス トットメイト(9:00~17:00) ☎0120-01-6069

※U25は公演日に25歳以下対象(要証明書)

※車椅子席、団体(10名以上)は事務局にて取扱い

発売日時 | 2017年12月20日(水)10:00発売

販売場所 | ○愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス <http://www.aac.pref.aichi.jp/gekijyo/syusai/>

○愛知芸術文化センター内プレイガイド(10:00~19:00) ☎052-972-0430

※土日祝は18:00まで。月曜定休、祝休日の場合は翌平日。12/28~1/3年末年始休

○チケットぴあ ☎0570-02-9999 (Pコード 482-453)

※購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。

主催 | 愛知県芸術劇場

助成 | 平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

企画 | 愛知県芸術劇場、SPAC-静岡県舞台芸術センター

他会場 | ふじのくに せかい演劇祭 2018 上演予定

『寿歌』制作記者会見

日程・時間 | 2018年1月29日(月) 14:00 愛知芸術文化センター内

登壇者 | 作:北村 想 演出:静岡県舞台芸術センター(SPAC)芸術総監督 宮城 聡

※詳細はあらためてお知らせします。

お問合せ

愛知県芸術劇場 ☎052-955-5506(10:00~18:00) FAX 052-971-5541

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 Mail: mkt@aaf.or.jp

関連ワークショップ「リーディング・カフェ」

日程・会場 | 2018年2月10日(土) 新城市つくだ交流館、11日(日・祝) 小牧市公民館・視聴覚室

※時間やお申し込み方法などの詳細はウェブサイト等でお知らせします

講師 | 奥野晃士(SPAC 俳優)

主催 | 愛知県芸術劇場